

おわりに

「夢」をかたちにするには、一人ひとりが勇気をもって一歩踏み出すことが大切であり、どの方向に一歩を進めるかを新居浜市民として共有していくことが求められます。常に市民の皆様の声に耳を傾け、その幸せの実現のために何が必要かを考え、議論し、変革を恐れずに挑戦していくことが必要であると考えております。

私の尊敬する指導者の一人である上杉鷹山は、若くして養子として米沢藩に迎えられました。米沢藩は、上杉謙信の流れを引く名門でしたが、鷹山の頃には15万石に減封されたにも拘らず、多くの家臣を抱える赤字再建団体であり、その中で率先垂範して変革に取り組んだリーダーでありました。鷹山が米沢に入府する際のエピソードを私は心に銘じております。

荒れ果てたさびれた村を通過していく中、乗り物の中で暖をとるための火鉢の炭がまさに消えかかっておりました。家来は新しい炭に取り換えようとしたが、それを引き止め、その際に学んだ教訓をのちに家来に伝えたそうです。目の前の炭火がまさに消えようとしていることを藩の窮乏になぞらえ、大事に消えかけた炭火を取り上げ、そっと辛抱強く息を吹きかけていくことで、火を起こし、甦らせることに成功したというのです。その起こった火を新しい炭に移していくこと、それと同じ方法で、藩の再生が叶うはずだと家臣に語り、家臣はその炭火を我が家に持ち帰り、大切に守り続けたというのです。リーダーの心がけ、ビジョンを共有することの大切さを教えられる話であります。

市民の心に火をともし、それをみんなの誇りとして守り続けていくことができれば、きっと後世に恥じることのないまちづくりが推進されるものと信じ、市民の皆さまとともに市政に取り組んでまいり所存でございます。どうか議員の皆様におかれましても、市民の笑顔輝く新居浜市の実現に向け、チーム新居浜の一員として一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。